



平成27年度 教育行政方針

新しい時代を切り拓き 豊かな心を育む学びのまちづくり

鈴木功教育委員会委員長が第51回市議会定例会で述べる

はじめに

27年度は、教育委員会制度の改正、公民館の市民センターへの移行、文化・スポーツに関する事務の市長部局への移管など、教育委員会として、大きな変革の年です。

教育委員会制度の改正により、市長と教育委員で構成する総合教育会議を設置し、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱や重点的に講ずべき施策などを協議調整していくことになり、今まで以上に市長と地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、連携して教育を振興してまいります。

社会教育事業は、27年度から市長部局で事務を行います。方針や評価などは、社会教育委員の意見を伺いながら、引き続き教育委員会会で担います。

あわせて、文化・スポーツの事務も市長の事務として移管しますが、社会教育、文化・スポーツの振興は、市長と教育委員会が連携し、生涯学習の振興、人材育成に努めます。27年度は、当市の教育の進むべき方向を示す一関市教育振興基本計画の最終年度で、計画を着実に推進します。

また、28年度を初年度とする新たな教育振興基本計画は、市民の参画をいただき、次期一関市総合計画との整合性を図りながら、策定に取り組みます。

適応を図ります。

また、小中学校では、特別支援教育の研修会を実施するとともに、学校サポーターを増員し、個に応じた支援を行います。

●地域に学ぶ教育

社会科副読本の活用や「いま地域の学校がおもしろい」の資料作成等を通じ、地域への愛着や誇りを育む教育活動をさらに推進します。

●学校の安全安心

放射能汚染対策として引き続き学校施設や給食食材等の放射線量を測定します。

また、市内全中学校において救命講習を実施します。

さらに、各幼稚園、小中学校と保護者の間で緊急連絡等を行うことができるメールシステムを活用し、非常時に備える取り組みを継続します。

●義務教育施設

▼山目小の外構とプール整備▼
校中特別教室棟整備▼磐井中北校舎大規模改修▼東山中校舎の耐震改修などの事業を進め、教育施設の安全確保と教育環境の向上に努めます。

また、東山小の新校舎建設候補地の選定を進めます。

●学校給食

細心の注意をはらいながら安全安心な給食の提供に努めます。また、地場産食材の利用を進めるとともに、授業での食育指導の推進や食育担当者研修の実施により、食育を充実します。



3月に完成した山目小学校の新校舎

幼稚園は、本年4月からスタートする「子ども子育て支援新制度」に合わせ、私立幼稚園の保護者負担を大幅に軽減し、子育て世代を支援します。また、公立幼稚園と私立幼稚園の保育料を統一する方向で取り組みます。

学校統合は、本年4月1日に、山目中と中里中を統合し、磐井中を開校。日形小を老松小へ統合します。

また、30年4月を目標として、千厩地域の5つの小学校を1校に新設統合するため、用地取得等に取り組みます。他の地域でも、少子化時代における学区の状況に対応した、より良い教育環境づくりに向け、保護者、地域住民の理解を得ながら学校統合を進めます。

学校教育は、確かな学力とたくましく豊かな心を育む教育を基本に、学力向上、ことばを大切にする教育、キャリア教育を重点的に取



一関地方に伝わる郷土芸能「南部神楽」

(仮称)西部第二中学校給食センターの整備を進めます。

共に学び触れ合う 社会教育の推進

●社会教育

市民一人一人が生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、生涯にわたる多様な学習機会の提供や学習活動の促進に努めます。

●家庭教育

家庭教育は、全ての教育の原点です。子供たちが正しい生活習慣を身に付け、心身ともに調和のとれた人間に成長できるように、家庭教育の支援に努めます。

●青少年教育

地域特性を生かした学びの土曜塾を開催するなど、社会活動への参加、世代間の交流、リーダー育成を推進します。

また、子供、親、教師(学校)、地域、行政の連携による教育振興運動を推進し、子供の健全な育成を図ります。

人生を豊かにする 生涯学習の推進

●生涯学習

社会・経済状況の急激な変化に対応していくため、幅広い年代の人々が多様な目的を持って学ぶことができる生涯学習環境の充実に努めます。

り組むとともに、小中連携や地域との関わりを重視します。

また、各校の学力向上に向けた取り組みを指導・支援し、読書活動や中学生の社会体験学習、復興教育の一環としての交流活動、道徳教育の充実等により、これからの社会を生き抜く力を身に付けた児童生徒を育成します。

一関図書館は、昨年、市内8図書館の中央館として開館しました。市立図書館全体の運営管理や組織的サービスを経営する中心館として、市民の読書環境の充実を図ります。

骨寺村荘園遺跡は、世界遺産拡張登録の実現に向け、有識者委員会等での指導助言を踏まえ、発掘調査を重点的に実施し、中世における景観の変化について文献研究を進めます。

また、重要文化的景観「一関本寺の農村景観」を構成する重要な要素となっている小區画水田について、地域住民とともに保存活用方針を定め、伝統的農村景観の保全に努めます。さらに、骨寺村荘園交流館を拠点に、骨寺村荘園の価値と魅力を情報発信します。

国際リニアコライダー(ILC)の誘致に向けた小中学生等を対象とした取り組みは、中学生最先端科学体験研修や英語の森キャンプ事業、子供たちによる地域の情報発信事業を実施するほか、外国語指導助手(ALT)を幼稚園・小中学校に派遣し、外国語に慣れ親し

む機会を提供するなど、国際化に対応した人材の育成に努めます。

生きる力を育む 学校教育の推進

●学校教育

標準学力検査(CRT)等の結果を分析したリーフレットを作成して「わかる授業」が行われるよう各学校を支援します。学校公開研究会や各種研修会の開催、指導主事や学習指導専門員の訪問指導、理科学習支援員の配置など、確かな学力の育成に努めます。

●ことばを大切に教育

読書普及員を増員して小中学校全校に配置します。蔵書の充実や市立図書館との連携を通じて、さらなる読書環境の向上に努めます。

また、音読などにより、ことばの感性を磨き、ことばと深く関わってきた地域の先人に触れながら、郷土への誇りにつながります。

●キャリア教育

生徒の職業観と勤労観、社会性を育てるために、中学2年生を対象に「14歳・地域で学ぶ5日間」をテーマとして社会体験学習を実施し、地域と一体となった教育活動を展開します。

●学校体育

来年度開催される「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を運動・スポーツへの意欲・関心を高める機会と捉え、小学校での業間運動や中

地域の生涯学習の拠点の公民館機能に、地域づくりの拠点としての機能を加えた市民センターでは、協働のまちづくりや地域の人材を育成する社会教育を行うほか、図書館、博物館等での生涯学習講座等と連携していきます。

生涯学習の大きな柱となる読書は、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことができないことから、大切さについて家庭、地域の共通理解を図ります。

●図書館

8図書館それぞれが学校図書館や関係機関と連携しながら、地域における情報拠点施設となるよう運営します。

なお、28年度を初年度とする新しい図書館振興計画や図書館サービス計画を策定します。

多様で個性ある 文化の創造

●文化芸術の振興

学校における地域学習推進、博物館等と連携した歴史文化学習、伝統芸能伝承活動など学校教育の中で文化芸術に触れ合う機会を充実させていきます。

●文化財の保護

市内に所在する文化財を良好な形で継承するため、指定等文化財の所有者や各種団体が行う修理等の保護活動に対して、引き続き支援を行います。

おわりに

市民に開かれた教育委員会を目指し、関係団体等と連携しながら、生涯にわたる市民の学習活動を促進し、一関市教育振興基本計画に掲げる基本目標である「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり」に力を尽くします。

皆様のご理解、ご支援、ご指導を心からお願いたします。